

ワードによるレポート・論文作成の方法 (1)

UENO Toshihiko, Professor of Russian Politics
Department of Russian Language and Studies, Faculty of Foreign Studies, Sophia University
e-mail: uenot@mc.neweb.ne.jp; URL: <http://www.geocities.jp/collegelife9354/index.html>

1. ページ設定

文字方向(「横書き」、「縦書き」の区別)、文字と行数の指定、余白、印刷の向き(用紙の「縦置き」、「横置き」の区別)、用紙サイズ、ヘッダーとフッターの設定などは、「ページ設定」画面で設定します。以下は、レポート・論文を作成する場合の標準的な設定(A4用紙、1ページあたり40字×30行=1200字=400字詰め原稿用紙3枚相当)です。「ページ設定」画面では、画面表示に関連する設定もできますが、ここでは、印刷結果に影響する設定についてだけ説明します。

1.1. 「ページ設定」画面の出し方

メニューバーを以下の順でクリックします

ファイル(F) > ページ設定(U) > 「ページ設定」画面

1.2. 「ページ設定」画面でレポート・論文などのための標準的な設定を行います

1.2.1. 「文字数と行数」画面での設定

文字方向

方向: 縦書き(Z) (初期設定)

段数(C): 1 (初期設定)

文字数と行数の指定

「文字数と行数を指定する(H)」にチェックを入れます

文字数

文字数(E): 40 字送り: 自動的に設定されます

行数

行数(R): 30 行送り: 自動的に設定されます

「フォントの設定(F)」ボタンをクリックします

「フォントの設定」画面での設定

日本語用のフォント(T): 「MS 明朝」を選択します サイズ(S): 10.5 (初期設定: 単位はポイント)

英数字用のフォント(F): 「Times New Roman」を選択します

その他の設定は初期設定のままでかまいませんので、日本語用と英数字用のフォントを選択したら「OK」ボタンをクリックして「フォントの設定」画面を閉じて、「文字数と行数」画面に戻り、「余白」タブをクリックして、次の「余白」画面での設定に移ります。

なお、一部分だけ、別のフォントに変換したい場合には、フォントを変換したい部分を範囲指定(反転)し、メニューバーの「MS 明朝」と書いてある部分の右側の をクリックして、フォントを選択します。

1.2.2. 「余白」画面での設定

余白

上(T): 35 (初期設定: 単位は mm)

下(B): 30 (初期設定)

左(L): 30 (初期設定)

右(R): 30 (初期設定)

とじしろ(G) : 0 (初期設定)

印刷の向き

「縦(P)」にチェックを入れます (初期設定)

1.2.3. 「用紙サイズ」画面での設定

用紙サイズ(R) : A4 (初期設定)

コラム

このプリントは、たくさんの部数を印刷して配布するので、印刷枚数を減らして用紙を節約するため、「レポート・論文を作成する場合の標準的な設定」とは違って、小さなフォントを使用して 1 ページあたりの文字数を増やしたページ設定で作成しています。

すなわち、1 ページあたり 45 字×44 行 = 1,980 字です。

日本語用フォントはタイトルの「ワードによるレポート・論文作成の方法 (1)」や「1. ページ設定」などの章や節の見出しが「MS ゴシック」、本文が「MS 明朝」、英数字用フォントはすべて「Times New Roman」です。

フォントサイズは、タイトルが 10.5 ポイント、本文が 9 ポイント、タイトル下にある名前などの英数字は 7 ポイントです。

余白は上下左右とも 20mm、用紙サイズは B5 で、印刷のときに 2 ページ分を並べて B4 用紙に印刷しています。

私が授業で配布するレジメは、以上のようなページ設定を基本にして作成していますが、1 行あたりの文字数や 1 ページあたりの行数は、そのレジメの内容や形態に合わせて調整し、見やすくするようにしています。

2. ページ番号の挿入

レポートや論文には、ページ番号を必ず入れるようにしましょう。たとえ 2 枚程度のレジメであっても、ページ番号を入れるようにしましょう。ページ番号がなくてもよいのは、1 ページのものだけだと考えてください。ページ番号に関する設定は、「ページ番号」設定画面で設定します。以下は、レポート・論文を作成する場合の標準的な設定 (用紙下部中央に算用数字で入れる) です。

2.1. 「ページ番号」設定画面の出し方

メニューバーを以下の順でクリックします

挿入(I) > ページ番号(U) > 「ページ番号」設定画面

2.2. 「ページ番号」設定画面でページ設定を行います

位置 : ページの下 (初期設定)

配置 : 中央

「最初のページにページ番号を挿入する(S)」にチェックを入れる場合と入れない場合

レジメなど独立した表紙がない場合には、チェックを入れます

表紙をつけない場合は、「ページ番号の書式」の設定は、初期設定のままでかまいませんので、次の には進みません。

レポートなどに表紙をつけた場合、表紙にはページ番号を入れないので、チェックをはずします

チェックをはずした場合、そのまま印刷すると、表紙の次のページとなる本文の最初のペー

ジは2ページ目にあたるためページ番号が2と印刷されます。そのページ番号を1にするには、「書式(F)」ボタンをクリックして、「ページ番号の書式」画面で設定を行います。

「ページ番号の書式」画面での設定

番号書式(F) : 1, 2, 3, ... (初期設定 : 半角数字)

開始番号(A) : 表紙にはページ番号を入れないように、 のところでチェックをはずした場合、そのまま印刷すると、表紙の次のページとなる本文の最初のページは2ページ目にあたるためページ番号が2と印刷されます。そのページ番号を1にするには、開始番号を0にします。開始番号の設定が終わったら、「OK」ボタンをクリックして「ページ番号の書式」画面を閉じて「ページ番号」設定画面に戻り、もう一度「OK」ボタンをクリックして「ページ番号」設定画面を閉じます。

3. 「オートコレクト」の設定

ワードは、文字入力、とくに英語入力をサポートするため、たとえば、小文字の「i」を入力して、そのあとにスペースを入れると、独立した「i」という単語は存在しないため、小文字の「i」は大文字の「I」に自動的に変換されます。こうした機能を「オートコレクト」と言いますが、ときには、こうした親切なサポート機能がじゃまになるときがあります。たとえば、上の例で言うと、「Государство и право» (ロシア科学アカデミー「国家と法」研究所発行の『国家と法』という雑誌のタイトル) をローマ字に翻字して表記しようとする、「Gosudarstvo i pravo」としたいのに、「Gosudarstvo I pravo」となってしまいます。このように、オートコレクトの機能は、便利なときもありますが、ときにはかえってじゃまになることがあるので、任意に設定できるようになっています。オートコレクトに関する設定は、「オートコレクト」設定画面で行います。

3.1. 「オートコレクト」設定画面の出し方

メニューバーを以下の順でクリックします

ツール(T) > オートコレクトのオプション(O) > 「オートコレクト」設定画面

カーソルが英数字のところにあったら、「オートコレクト : 英語 (米国)」設定画面が出ます

3.1.1. 「オートコレクト」タブの画面で設定を行います

「入力中に自動修正する」のチェックをはずすと、「i」と入力して、そのあとにスペースを入れても、自動的に「I」に変換されることはなくなります。

4. 注

注は、論文などで必要となりますが、ワードでは、本文に注番号を挿入すると、自動的にページの下 (脚注) か文末 (文末脚注) に注番号が挿入され、注を入力する場合に便利です。また、文章の前に戻って、注を新たに挿入した場合、挿入された位置のあとにある注の番号が自動的に+1された数字に更新されます。

4.1. 注の挿入の仕方

本文の注を挿入したい箇所にカーソルを移動します

メニューバーを以下の順でクリックします

挿入(I) > 参照(R) > 脚注(N) > 「脚注と文末脚注」設定画面

場所 : 脚注か文末脚注を選択してクリックします


「番号書式(N)」: 1, 2, 3, … (半角数字)

半角数字が初期設定の場合は、そのままで結構です

「挿入(I)」ボタンをクリックします

カーソルの置かれている箇所に注番号と、ページ下部に脚注番号か、または文章の末尾に文末脚注番号が挿入され、脚注欄または文末脚注欄にカーソルが移動します

注を入力します

注などで、書名や雑誌名はイタリック (斜体) で入力します。イタリックで文字を表記するには、通常の状態では文字を入力したあと、イタリックに変換したい部分を範囲指定 (反転) し、メニューの  ボタンをクリックします。

課題 以下の文章をワードで入力してください。ページ設定は、上で説明した「レポート・論文を作成する場合の標準的な設定」とし、1 行目に学生番号、2 行目に名前を、それぞれ右寄せで入力し、1 行あけてから、「第 1 章 エリツィンの登場」以下の本文を入力してください。また、ページ番号は必ず入れてください。なお、「第 1 章 エリツィンの登場」と「1. エリツィンの生い立ち」の部分のフォントは MS ゴシックで作成してください。

第 1 章 エリツィンの登場

1. エリツィンの生い立ち

エリツィンは、ゴルバチョフがソ連邦共産党中央委員会書記長に就任した翌月の 1985 年 4 月 19 日、ソ連邦共産党スヴェルドロフスク州委員会第 1 書記からソ連邦共産党中央委員会建設部長に就任して中央政界入りした¹。同年 7 月 1 日のソ連邦共産党中央委員会総会で中央委員会書記にも選出された²エリツィンは、はやくも「改革派」としてゴルバチョフの片腕とも言われるようになった。

さて、ここではまず、エリツィンがソ連の中央政界に登場するまでの生い立ちを概観してみよう。ボリス・ニコラエヴィチ・エリツィンは、1931 年 2 月 1 日、ゴルバチョフよりわずか 29 日はやく、スヴェルドロフスク州タリツァ地区プトカ村の農家に生まれた³。プトカ村は、ウラル山脈沿いの大工業地帯の中心都市であるスヴェルドロフスク州の州都エカチェリンブルク市から東へ約 150 キロほど行ったところにある寒村である。家は貧しく、祖父イグナチーフは農業の片手間にベチカづくりや大工仕事で生計を助けたが、父ニコライは、1935 年にコルホーズを逃げ出し、一家はスヴェルドロフスク州の西隣に位置するペルミ州のカマ川沿いのベレズニキ市に転居し、ニコライは肥料工場の建設労働者として雇われた⁴。ボリス・エリツィンの少年時代は、学校の成績はよかったが、兵器倉庫から盗んだ手榴弾を分解しようとして左手の 2 本の指を失うなど素行は悪かった⁵。

¹ *Правда*, 20 апреля 1985г., с. 2.

² *Правда*, 2 июля 1985г., с. 1.

³ Ельцин Б., *Исповедь на заданную тему*. М., «Новый стиль», 1990, с. 11 (邦訳、ボリス・エリツィン、小笠原豊樹訳『告白』草思社、1990 年、22 頁); *Известия ЦК КПСС*, 1990 No. 7, с. 94; John Morrison, *Boris Yeltsin: Bolshevik to democrat*, Dutton Books, New York, 1991, p. 42 (邦訳、ジョン・モリソン、秋野豊監訳、赤井照久訳『ボリス・エリツィン』ダイヤモンド社、1992 年、46 頁); Bill McDonald, “Yeltsin's profile and his politics”, *American Political Science Review*, Vol. 59, No. 3 (August 1991), pp. 218-219.

⁴ Ельцин, указ., с. 12 (前掲邦訳、23-24 頁)。

⁵ Там же, с. 13-15 (前掲邦訳、26-31 頁)。